



JP

ユーザーマニュアル

Easy Link PLUS シリーズ

デフォルトのユーザー名: admin
デフォルトのパスワード: 123456

本書について

本書の内容は情報を目的とし、予告なく変更することがあります。弊社は、本書が正確で完全なものであることを保証するあらゆる努力を行っています。しかし、いかなる誤記および脱落が生じた場合も一切の責任を負いません。

FCC適合性の表示

本機は試験を行い、FCC規則パート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に適合することが認められました。この制限は、住宅への設置における有害な妨害に対する合理的な保護を行うよう考案されています。本機は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射します。使用説明に従わずに設置し、使用した場合は、無線通信に有害な妨害が発生する恐れがあります。ただし、特定の設置においては妨害が発生しないという保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な妨害を引き起こす場合、それは本機の電源をOFF / ONにすることで判断できますが、次の対策の1つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続しているのと回路が異なるコンセントに製品を接続する。
- 販売店または経験を積んだラジオまたはテレビ技術者に相談し、支援を求める。
- 適合宣言

適合宣言

本機は、FCC規則パート15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従っています。

1. 本機は有害な妨害を起こすことができない。
2. 本機は、望まない動作を起こす可能性がある妨害を含むいかなる妨害の受信も受け入れなければならない。

著作権

賠償責任の制限

- 本書は、商品性、あらゆる特定目的への適合性、または第三者の権利の抵触がないことに関する黙示の保証を含むがこれに制限されない明示または黙示のあらゆる種類の保証なしに「そのまま」提供されます。
- 本書には、技術的な誤りまたは誤記がある可能性があります。出版物の改善または関連デバイスの改善のため、本書の情報に対してはいつでも変更が行われることがあります。

保証の否認

いかなる場合も、サプライヤは、次を含むがこれに限定されない場合に、製品の交換または合理的なメンテナンスを除き、いかなる当事者またはいかなる人に対しても責任を負わないものとします。

- すべての損害または損失、直接的または間接的なもの、特別なもの、派生的または警告的なもの、およびデバイスが原因となるまたは関連するものが含まれるがこれに限定されない。
- 不適切な使用またはユーザーの操作の怠慢により引き起こされた個人の怪我またはなんらかの損傷。
- ユーザーによる権限のないデバイスの解体、修理、または変更。
- システムとサードパーティ製デバイスを組み合わせることから発生するすべての問題、結果的不都合、または損失もしくは損傷。
- 被写体となるすべての人または組織からもたらされる損傷に対するすべての請求または訴えが、何らかの理由で保存したデータを含む監視カメラの写真がプライバシー違反の結果となることにより、公開されるかまたは監視以外の目的で使用される。

安全性情報



警告

これはなんらかの特別な注意を要する危険の可能性、リスク、または状態を示すマークです。
ユーザーは、重要な保守運用または修理の指示を参照する必要があります。



注意

正三角形の中に矢印付きの稲妻があるマークは、ユーザーへの警報を意図するものです。製品のエンクロージャー近くに、人に対するリスクになり得る危険な「電圧の」存在があります。

安全上の注意

- **充電部に触らないこと。**
感電を防ぐことができます。次に挙げる推奨法に従ってください。設置障害、不適切な接地、不正な電気機器の保守運用は、常に損傷の元となります。
- **風雨が強い時に屋外で機器を設置しないこと。**
- **雨の時は屋外で機器の設置または取り外しをしないこと。**
- **雷雨の時はいかなる機器も設置または操作しないこと。**
- **常にすべての電気機器と作業足場を接地すること。**
偶発的な感電を避けてください。電源、制御キャビネット、および作業足場を認可された電氣的アースに接続してください。
- **必ず正しいケーブルサイズを使用すること。**
過負荷の持続により、ケーブル障害が発生し、結果として感電または火災の原因となる可能性があります。作業ケーブルは、工場と同じ定格である必要があります。
- **ケーブルとコネクタは常に良好な状態に維持すること。**
不適切または破損した電気接続によりショートが発生し、感電の危険性が増加します。磨耗、損傷、または裸のケーブルを使用しないでください。
- **必ず開路電圧を避けること。**
電圧の追加により、感電の危険性の重大度が増加します。
- **機器を調整する間は必ず絶縁手袋を装着すること。**
電撃保護を保証するため、いかなる機器の調整を行う場合も電源をOFFにし、絶縁手袋を装着する必要があります。
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長袖のシャツなどの防護服を着ること。**
- **必ず高くぴたり合う靴を履くこと。**
- **必ず潤滑油または油が付いていない清浄な衣服を着ること。**
- **周囲の作業者が円周放射にさらされないよう保護すること。**
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長ズボンやジーンズを着ること。**
- **作業前に、必ず安全ヘルメットまたは安全帽および安全靴を装着すること。**
- **機器は常に乾燥した場所に保管すること。**
- **高所作業時は必ず安全ハーネスまたはベルトを装着すること。**
- **常に乾いた衣服を着て、湿気と水を避けること。**
- **夜間作業時は必ず公衆安全ベストを装着すること。**
- **すべての電気接続は、必ずしっかりと、清浄で、乾いた状態にすること。**
- **静電荷を除去するため、必ず十分に絶縁すること。**
- **常に乾いた手袋、ゴム底の靴、または乾いた板もしくは台に立つこと。**
- **必ず広く認められた安全基準に従うこと。**
- **必ず適切な目、耳、および体の保護具を装着すること。**
- **暗所、換気の弱い場所、または高所で作業する間は、必ず現場に2番目の人がいるようにすること。**
- **必ずアーク閃光、機械的損傷、またはその他の災難に対して十分に保護すること。**
- **機器を設置する前に、線の極性が正しいことを確認すること。**
- **機器は必ず注意して取り扱うこと。**
- **機器の換気を遮らないこと。**
- **機器の周辺に磁気パーツを置かないこと。**
- **機器の上に物を置かないこと。**

目次

ハードディスクドライブ (HDD) のインストール.....	5
接続を行う.....	6
DVRの共通操作.....	8
ライブ映像表示画面.....	9
メインメニュー.....	10
ディスプレイ: ライブ映像.....	11
ディスプレイ: 出力.....	12
ディスプレイ: プライバシーゾーン.....	13
録画: 録画および録画ストリーム.....	14
録画: スケジュール.....	15
ネットワーク: ネットワーク.....	16
ネットワーク: ネットワークおよびリモートストリーム.....	17
ネットワーク: メールおよびメールスケジュール.....	18
ネットワーク: DDNSおよびFTP.....	19
アラーム: モーション.....	20
録画検索: 全般.....	21
録画検索: 全般およびイベント.....	22
録画検索: 全般(続き).....	23
録画検索: 全般(続き).....	24
録画検索: 全般(続き).....	25
デバイス: HDDおよびPTZ.....	26

システム: 全般およびユーザー.....	27
システム: DSTおよびNTP.....	28
システム: 情報およびログ.....	29
詳細: 維持.....	30
詳細: イベントおよび自動アップグレード.....	31
Webクライアントを経由するリモートアクセス.....	32
Webクライアントを経由するリモートアクセス(続き).....	33
トラブルシューティング.....	34

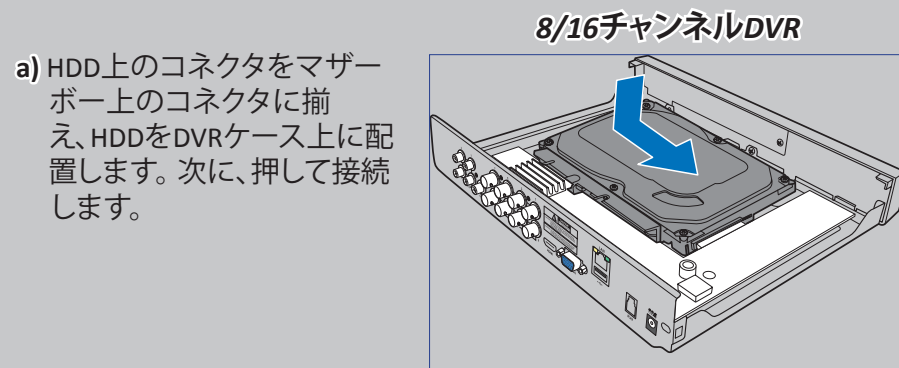
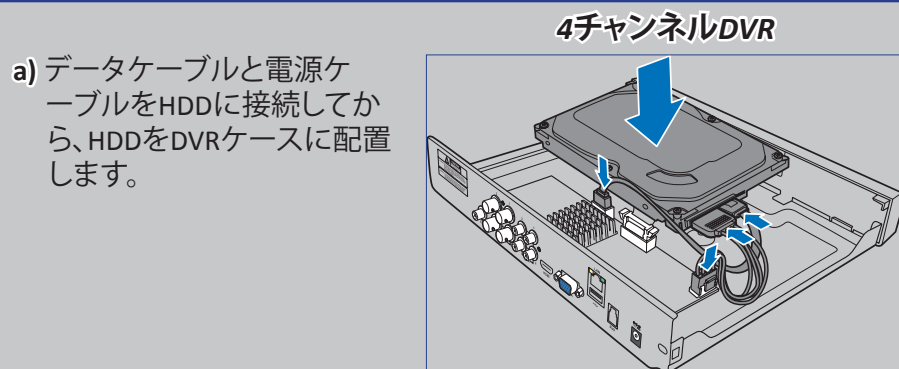
ハードディスクドライブ (HDD) のインストール

このDVRは、3.5インチまたは2.5インチSATA HDDをサポートします。

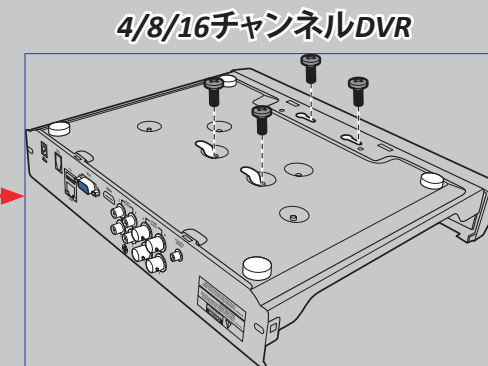
注意: デバイスの電源がONの間はHDDのインストールまたは取り外しをしないでください。

ハードディスクドライブのインストール手順は、4チャンネルDVRまたは8/16チャンネルDVRをインストールするかにより若干異なります。以下のようにインストールの詳細を参照してください。

注意: 購入したモデルにより、実際の商品は若干下の画像とは異なる場合があります。



b) 慎重にDVRケースを反転させ、HDDをDVRに4本のねじで固定します。

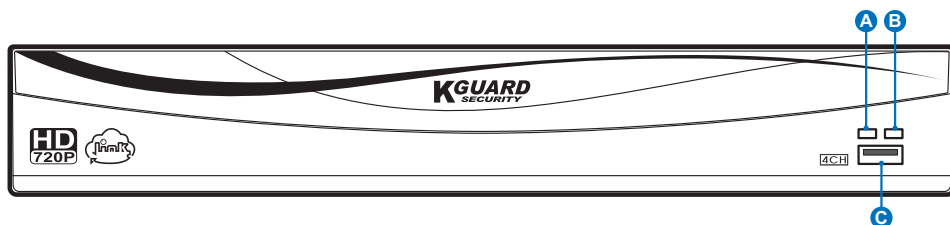


接続を行う

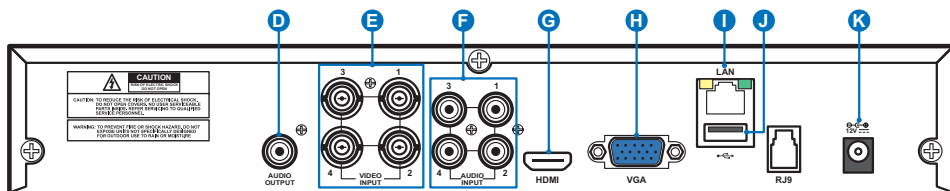
製品概要

注意: 製品の前面図は、4チャンネル、8チャンネル、16チャンネルDVRについても同様です。

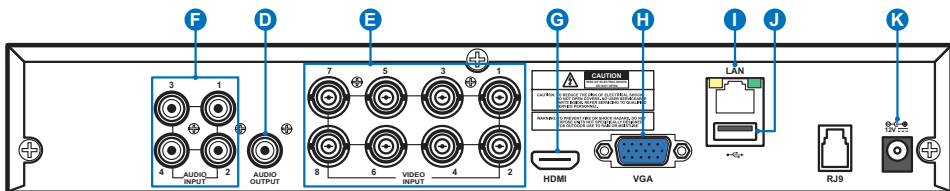
前面図(4チャンネルDVR*)



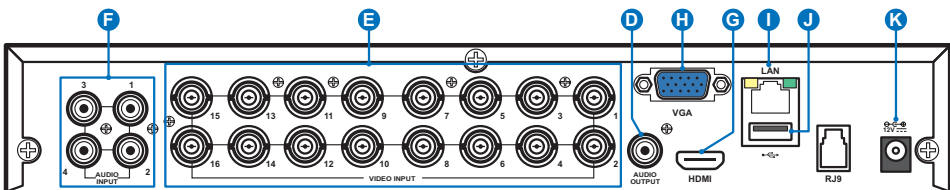
背面図(4チャンネルDVR)



背面図(8チャンネルDVR)



背面図(16チャンネルDVR)

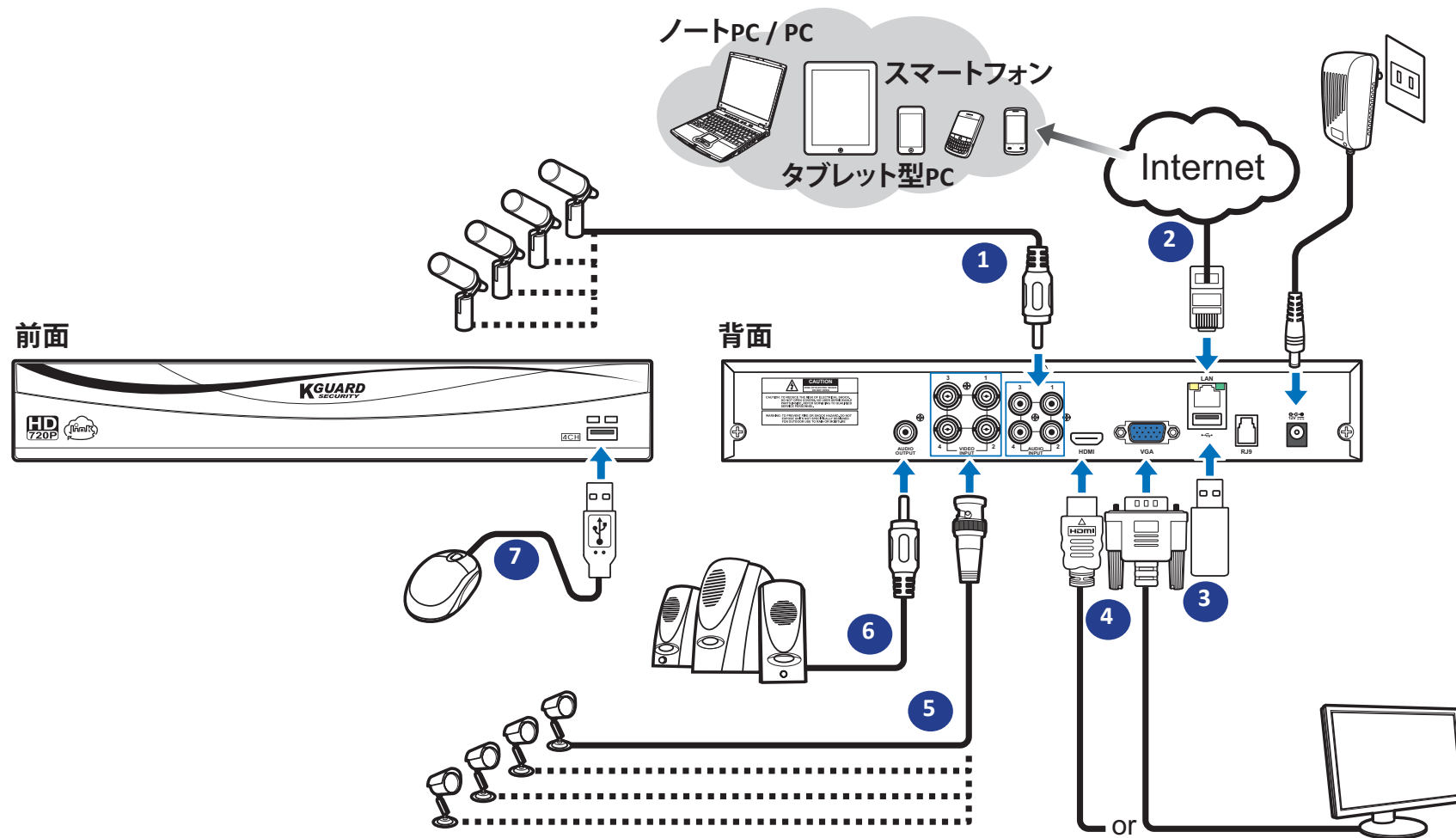


- A) HDD LED - ハードドライブが動作しているときに点滅します。
- B) 電源 LED - このライトは、DVRの電源が入っているときにオンになります。
- C) USB - ここに付属のマウスを接続します。
- D) オーディオ出力 - スピーカーを接続します。
- E) ビデオ入力 - カメラを接続するところです。

注意: 画質を保証するために、付属のK GUARDカメラを使用すること、または、PLUSシリーズのK GUARD 720Pメガピクセルカメラ(例えば、WA713APKまたはWA713APK4)を別途購入することをお勧めします。

- F) オーディオ入力 - マイクを接続します。
- G) HDMI - これをデジタル TV またはモニターに HDMI 入力 (付属の HDMI ケーブル) を使って接続します。
- H) VGA - これを TV またはモニターに VGA 入力を使って接続します。
- I) LAN - これをホームネットワークに接続し、DVR がインターネットに接続できるようにします。
- J) USB - 録画されたイベントをバックアップするために USB フラッシュドライブを接続します。
- K) 電源 - ここに電源アダプタを接続します。

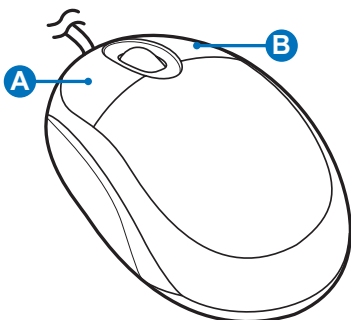
接続図



- 1) カメラから音声を聴く場合は、マイクおよび/または音声対応カメラを接続します。
- 2) 付属のRJ-45ケーブルの一方の端をルーターに、もう一方の端をDVRの背面のLANコネクタに接続します。
- 3) バックアップまたはシステムアップグレード用のUSBフラッシュディスクを使用します。
- 4) DVRのビデオ出力をHDMIまたはVGA接続を介してTVまたはモニターに接続します。
- 5) カメラの延長ケーブルのBNCプラグをDVR背面のビデオ入力コネクタに接続します。
- 6) DVRからライブ音声または音声再生を聴く場合は、スピーカーを接続します。
- 7) DVRの電源をオンにした後、初期セットアップメニューを行うためにUSBマウスが必要です。

DVRの共通操作

付属マウスの使用



A) 左ボタン

- シングルクリックして、メニューの項目を選択し、選択を確認します。
- ライブ映像表示画面上でチャンネルをダブルクリックして、チャンネルをフルスクリーンモードで表示します。再度ダブルクリックして、フルスクリーンモードを終了します。
- クリックアンドホールドして、エリアをモーションモードにドラッグする、または、メニューモードでスライダーおよびスケールの値を調整します。

B) 右ボタン

- シングルクリックして、ライブ映像表示画面上にポップアップメニューを開き、メニューを終了します

仮想キーボードの使用

データ入力が必要なときに、画面上に自動的に仮想キーボードが表示されます。



クリックして文字を削除します

クリックして文字を入力します

クリックしてキーボードを大文字に切り替えます

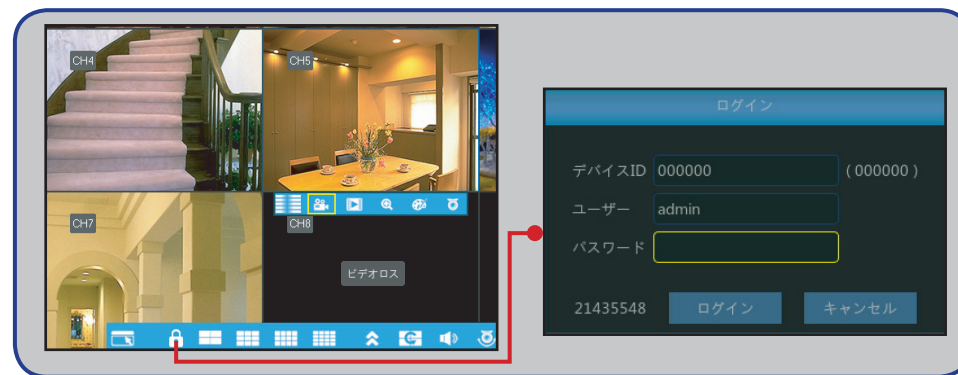
画面のロック

認証されていない者によるOSD操作から保護するため、画面がロックされます。OSDメニューにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力することで自分自身を認証する必要があります。

デフォルトのユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

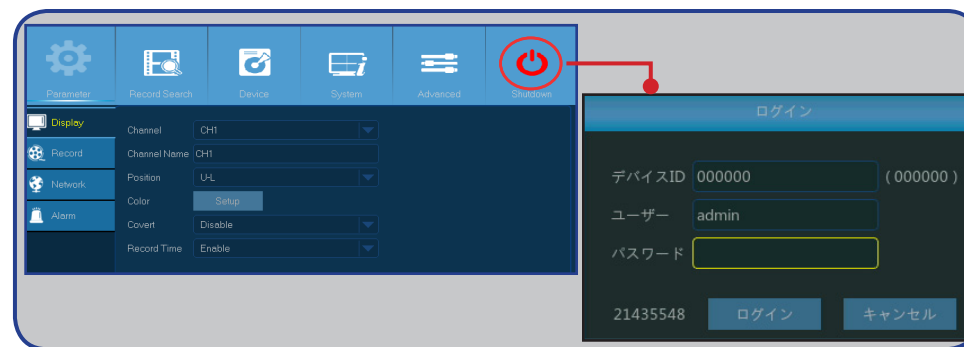
- ユーザー: **admin**
- パスワード: **123456**

注意: 必要な場合は、手動で画面をロックすることができます。これを行うには、ライブ映像表示画面上で右クリックし、ポップアップメニューバーを表示します。次に  をクリックします。



DVRの再起動/シャットダウン

再起動およびシャットダウン操作は、メインメニューを介して行うことができます。



ライブ映像表示画面

開始ウィザードを完了後またはスキップした後に表示される最初の画面です。この画面に、接続されたすべてのカメラのライブ映像が表示されます。表示は、購入したDVRモデルにより異なります。



状態アイコン

- M** モーションアイコンは、DVRがカメラからモーションを検出していることを示します。
 - H** HDDアイコンは、DVRがHDDを検出できない、または、HDDがフォーマットされていないことを示します。
 - R** これは、DVRが現在録画中であることを示します。
 - M** このアイコンは、カメラがモーションを検出し、録画をトリガーした時に表示されます。
- ビデオロス:** カメラがDVRに接続されていません。

メニューバー

- A)** メインメニューを開きます
 - B)** これをクリックして画面をロックします
 - C)** 4カメラ表示
 - D)** 9カメラ表示
 - E)** 12カメラ表示
 - F)** 16カメラ表示
 - G)** これをクリックして詳細なレイアウトオプションを表示します
 - H)** これをクリックして、パラメーター>出力>ビュー設定(ダイナミック)>シーケンスモードとSEQ時間で設定した順序でチャンネル表示を開始します。
 - I)** これをクリックして音量を調整します
 - J)** これをクリックして、PTZカメラに対するクルーズを開始/停止します。
- 注意: この機能はサポートされません。**
- K)** これをクリックして、複数のカメラを表示する際のピクチャーインピクチャーを有効にします。有効にすると、1台のカメラが全画面表示され、他のカメラは小さい画面に表示されます。
 - L)** 項目「K」と同じですが、小さな画面に1台のカメラを表示するかわりに、このオプションでは小さな画面に2台のカメラを表示します。
 - M)** ビデオを再生する場合は、これをクリックします。
 - N)** クリックして、手動でチャンネルの録画を開始します。
 - O)** チャンネルの即時再生を開きます。
 - P)** クリックして、チャンネルをズームインします。
 - Q)** クリックして、チャンネルのカラー設定を調整します。
 - R)** クリックして、カメラのPTZ設定を行います。

注意: この機能はサポートされません。

メインメニュー



- A) アラーム** - このメニューオプションを選択し、モーションエリアと感度を設定します。
- B) ネットワーク** - このメニューオプションを選択し、DVRリモート接続のパラメータを設定します。
- C) 録画** - このメニューオプションを選択し、録画オプションを設定し、録画スケジュールを設定します。
- D) 表示** - このメニューオプションを選択し、例えば、カラー設定、ビデオ出力解像度、プライバシーエリアなどのライブ映像表示画面上にチャンネルを表示する方法を設定します。
- E) 録画検索** - このメニューオプションを選択し、録画およびイベントを検索します。
- F) デバイス** - このメニューオプションを選択し、ここで内部HDDをフォーマットし、利用可能な容量を表示、上書きオプションを設定します。
- G) システム** - このメニューオプションを選択し、日付と時刻などの一般的なDVR設定を変更します。
- H) 詳細** - このメニューオプションを選択し、保守タスクを変更し、システムを更新します。
- I) シャットダウン** - このメニューオプションを選択し、ここでDVRをシャットダウンまたは再起動します。
- J) コピー(パラメーター)先** - クリックして、現在の設定を全チャンネルまたは特定の1つのチャンネルにコピーします。
- K) デフォルト** - クリックして、デフォルト設定を復元します。
- L) 保存** - クリックして、変更を保存します。
- M) キャンセル** - クリックして、変更を破棄します。

ディスプレイ: ライブ映像



- **チャンネル:** 設定するチャンネルを選択します。
- **チャンネル名:** チャンネル名を入力します。デフォルトでは、チャンネル名は「CH#」です。ここで、「#」はチャンネル番号です。
- **位置:** チャンネルを表示する際、チャンネル名を表示する場所を選択します。例えば、「U-L」は、名前がチャンネルの「Upper(上)-Left(左)」に表示されることを意味します。
- **カラー:** 設定をクリックして、ビデオのカラー設定を行います。

明るさ: ディスプレイ上に画像をどの程度明るく表示するかを定義します。

コントラスト: 画像の最も暗い黒色と最も白い白色の間の差を増やします。画像の一部が「グレイアウト」して見える場合、コントラストを変更してください。

色相: 画像の色の混合状態を変更します。

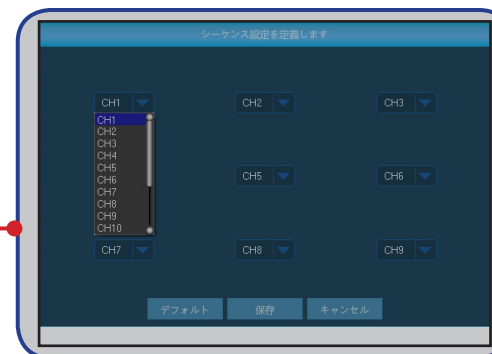
飽和度: 画像内にどの程度カラーを表示するかを変更します。彩度が高くなると、色が明るく、より鮮やかになります。このパラメータを高く設定しすぎると画質を低下させます。

- **カバート:** このチャンネルをライブ映像表示画面上に表示しない場合に有効にします。このオプションを無効または有効にしても、HDD上のビデオ録画に影響を与えません。
- **録画時間:** チャンネル時間に録画時間を表示しない場合に無効にします。
- **表示時間:** チャンネル時間に現在時刻を表示しない場合に無効にします。

ディスプレイ: 出力



- **ビデオ出力:** これは、ライブ映像表示に使用するモニターです。
- **ビュー設定:** ここで、ライブ映像上にチャンネルを表示する方法を選択します。
スタティック: 表示するチャンネルのみを選択する場合、このオプションを選択してください。
ビューモードで、いくつかのチャンネルを含めるかを選択します。次に、**SEQ設定**をクリックし、ドロップダウンメニューからチャンネルを選択します。



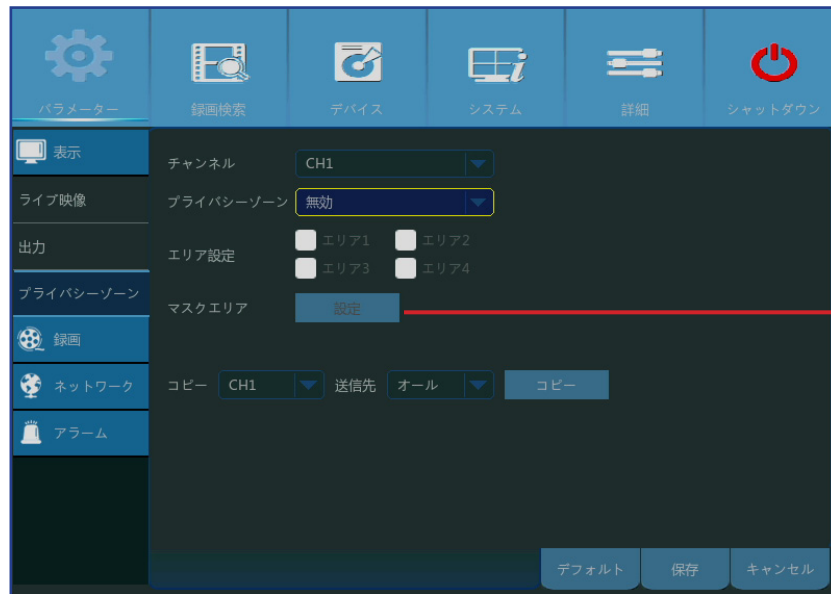
ダイナミック: すべてのチャンネルを順番に表示する場合、このオプションを選択してください。DVRには、チャンネルを表示する一連の事前定義されたレイアウトがあります。**シーケンスモード**メニューオプションでお気に入りのレイアウトを選択します。



- **SEQ時間:** チャンネルからライブ映像を順番に表示する時間を設定します。
- **VGA/HDMIの解像度:** モニター/TVがサポートする最高解像度を選択します。解像度が高くなると、画像のより詳細が表示されます。解像度を変更後、DVRが再起動します。
- **透明度:** 表示するメニューの透明度を決定します。設定の調整中に何が起きているかを見る必要がある場合は、一部透明(シースルー)を選択してください。

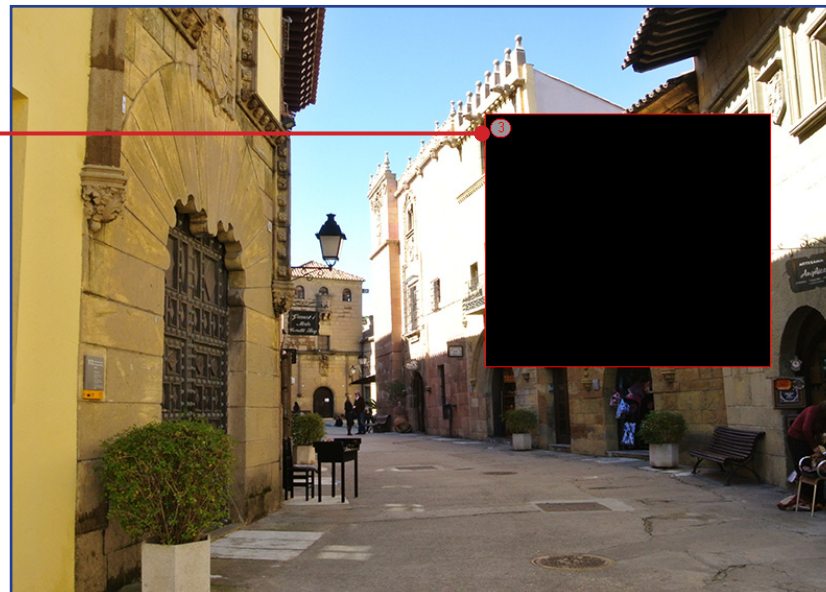
ディスプレイ: プライバシーゾーン

注意: 画像を部分的にカバーする場合、プライバシーゾーンを作成してください。最大4つのプライバシーゾーンを作成することができます。画像上に「黒いエリア」として表示されます。ゾーンを作成する場所、および、ゾーンの大きさを選択することができます。デフォルトで赤い線で囲まれた長方形の内部をクリックし、それをプライバシーゾーンを作成する場所にドラッグします。次に、赤い線をクリックアンドホールドして、ゾーンに対する希望の形状を作成するようにカーソルを移動します。右クリックして、プライバシーゾーンメニューに戻ります。



- ・ **チャンネル:** プライバシーゾーンを設定するチャンネルを選択します。
- ・ **プライバシーゾーン:** プライバシーエリアを設定する場合、この機能を有効にする必要があります。
- ・ **エリア設定:** いくつかのプライバシーエリアを設置し、エリアを確認するかを決定します。
- ・ **マスクエリア:** **設定**をクリックし、フルスクリーンモードでチャンネルを開き、プライバシーゾーンのマーキングを開始します。**エリア設定**で選択したエリアの数に応じて、チャンネル表示上に黒い長方形でカバーされたエリアが表示されます。エリアのマーキング完了後、右クリックして、メインメニューに戻ります。

注意: チャンネル上のプライバシーゾーンは、ライブ映像表示およびビデオファイル上に表示されません。ライブ映像表示およびビデオファイル上で、黒いボックスでカバーされたプライバシーゾーンが表示されます。



録画: 録画および録画ストリーム



- **チャンネル:** 録画パラメータを設定するチャンネルを選択します。
- **録画切替:** HDDに対するビデオ録画を許可するために有効にします。
- **事前録画:** このオプションが有効である場合、DVRは、イベントが発生する前の数秒間の録画を開始します。プライマリー録画タイプがモーションベースである場合、このオプションを使用してください。

ここで、録画するビデオのパラメータを設定します。これらの設定に適用するすべての変更は、HDDに保存される録画ビデオに影響を与えます。



- **チャンネル:** 録画に関連する情報を設定するチャンネルを選択します。
 - **解像度:** このパラメータは、録画される画像の大きさを定義します。利用可能なオプションは次の通りです: 720P(1280x720)またはWD1(960×480)、WHD1(960×240)、WCIF (480×240)。
 - **FPS:** このパラメータは、DVRが録画する1秒当たりのフレーム数を定義します。
 - **ビットレート:** このパラメータは、DVRがビデオ録画に使用するデータ転送速度に対応します。エンコードされる録画のビットレートが高くなると、品質が高くなります。
- 音声:** ビデオと一緒に音声を録画し、DVRにマイクを接続している場合、または、音声互換のカメラ(付属していません)を使用する場合は、このオプションを選択してください。音声オプションは、チャンネル1から4に対してのみ利用可能ですので、音声互換カメラをこれらのチャンネルに接続する必要があります。

録画: スケジュール

このメニューにより、いつDVRがビデオを録画するかを指定し、各チャンネルに対して録画モードを定義することができます。録画スケジュールにより、ノーマル(連続)録画による毎日および毎時のようなスケジュールおよびモーション録画を設定することができます。録画モードを設定するには、最初にモード(ノーマル録画/モーション録画)をクリックし、次にカーソルをドラックして、スロットをマークします。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。別なチャンネルに同じ録画スケジュールを使用する場合は、**コピー先**機能を使用してください。



左の画像は、チャンネル1に対して定義された録画スケジュールを表示します。この例のスケジュールでは、チャンネル1は以下を行います。

- 土曜日と日曜日に24時間モーションに基づいて録画します。
- 月曜日から金曜日まで、午前6時から午後8時まで連続的に録画し、午後8時から午前6時までモーションに基づいて録画します。

- **チャンネル:** 録画パラメータを設定するチャンネルを選択します。
- **ノーマル録画:** タイムスロットが緑色の場合、そのタイムスロットではチャンネルはノーマル録画を行っています。
- **モーション録画:** タイムスロットが黄色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルは動作が検出された場合のみ録画します。このタイプの録画を使用することをお勧めします。
- **録画なし:** 黒くマークされた時間スロットは、この時間に対してスケジュールされた録画がないことを意味します。

ネットワーク: ネットワーク

最も一般的なタイプは、DHCP または固定です。ネットワークが手動でアドレス指定(通常、固定と呼ばれる)されていない限り、おそらくネットワークタイプは、DHCPです。インターネットに対する認証用のユーザー名とパスワードを必要とする場合は、PPPoEを選択してください。

- **ネットワークタイプ:** 使用しているネットワークタイプを選択します。

注意: ネットワークタイプまたは設定について不明な点がある場合は、ご利用のISP(インターネットサービスプロバイダ)にお問合せください。

- **DHCP:** これは、ネットワーク上のデバイス(通常はルーター)がDVRにすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てる場合のネットワークタイプです。
- **スタティック:** すべてのネットワークパラメータを手動で入力する必要があります。

PPPoE: これは、DSLモデムを介して、DVRをより直接ネットワークに接続する高度なプロトコルです。

ネットワーク: ネットワークおよびリモートストリーム

- **ユーザー/パスワード:** ネットワークタイプにPPPOEを設定した場合のみ、ログイン資格情報を使用する必要があります。
- **HTTPポート:** DVRにリモートでログインするために使用するポートです(例えば、Webクライアントで使います)。他のアプリケーションによりデフォルトポート80がすでに使用されている場合は、変更してください。
- **クライアントポート:** DVRが情報を送信するために使用するポートです。他のアプリケーションによりデフォルトポート9000がすでに使用されている場合は、変更してください。
- **IPアドレス:** IPアドレスは、ネットワーク内でDVRを識別します。これは、ピリオドで区切られた0から255の4つのグループの数字で構成されます。例えば、「192.168.001.100」です。ネットワークタイプが**スタティック**である場合のみ、IPアドレスを手動で入力する必要があります。
- **サブネットマスク:** サブネットマスクとは、ネットワークで利用できるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスがあなたが住んでいる通りである場合、サブネットマスクは近所のようなものです。また、サブネットマスクは、ピリオドで区切られる4つのグループの数字で構成されます。例えば、「255.255.000.000」です。IPアドレスと同様に、ネットワークタイプが**スタティック**である場合のみ、サブネットマスクを手動で入力する必要があります。
- **ゲートウェイ:** このアドレスにより、DVRのインターネットへのアクセスを許可します。**ゲートウェイ**アドレスの形式は、**IPアドレス**の形式と同じです。例えば、「192.168.001.001」です。IPアドレスと同様に、ネットワークタイプが**スタティック**である場合のみ、ゲートウェイアドレスを手動で入力する必要があります。
- **DNS1/DNS2:** インターネット上で、すべてのネットワークデバイスはIPアドレスにより検索されます。しかし、簡単に使用するため、IPアドレスをドメイン名に関連付けることができます。DNS1は、プライマリDNSサーバーで、DNS2はバックアップDNSサーバーです。通常、DNS1のサーバーアドレスのみを入力すれば十分です。
- **UPNP:** Webクライアントを使用してリモートでDVRにアクセスする必要がある場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートする場合は、このオプションを有効化します。UPnPをDVRとルーターの両方で有効化する必要があります。この場合は、ルーター上で手動でポート転送を設定する必要はありません。

注意: ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください。 <http://portforward.com/kguard>でカスタマイズされた無料ガイドを参照してください。

チャンネルをリモートアクセスを介して表示する場合、このメニューにより、特定チャンネルの設定を行うことができます。これらの設定に適用するすべての変更は、HDDに保存される録画ビデオに影響を与えません。



- **チャンネル:** ストリーミングに関連する情報を設定するチャンネルを選択します。
- **ビデオ:** DVRのリモートで接続し、チャンネルを表示する場合は、無効を選択してください。
- **FPS:** このパラメータは、リモートセッションでの1秒当たりのフレーム数を定義します。
- **ビットレート:** このパラメータは、リモートセッション中のデータスループットです。
- **音声:** リモートセッション時にライブ音声を聴く場合は、このオプションを選択してください。DVRにマイクが接続されている場合、または、カメラが音声互換であり、チャンネルに対する音声オプションが有効である場合のみ、このオプションが有効です。

ネットワーク: メールおよびメールスケジュール

モーションが検出された時、HDDが一杯になった時、HDDがエラー状態にある時、ビデオロスが発生した時、メールでシステム通知を受け取る場合、この設定を完了してください。



- **メール:** この機能を有効にしてください。
- **SSL:** メールサーバーがSSL証明を必要とする場合、有効にしてください。不明な場合は、メールサービスプロバイダに相談してください。例えば、Gmailを使用している場合、このオプションを有効にする必要があります。
- **SMTPポート:** メールサーバーのSMTPポートを入力します。例えば、Gmailを使用している場合、SMTPポートは465です。
- **SMTPサーバー:** メールSMTPサーバーを入力します。
- **送信者:** メールアドレスを入力します。
- **送信者パスワード:** メールのパスワードを入力します。
- **受信者:** DVRからイベント通知を受信するメールアドレスを入力します。
- **時間トリガー:** DVRからの通知メールの時間間隔の長さを設定します。

注意: すべての設定が正しいことを確認するために、テストメールをクリックしてください。システムは、受信箱に自動メールメッセージを送信します。テストメールを受信した場合、設定パラメータが正しいことを意味します。

便宜上、メールスケジュールを作成することができます。メールによりいつ通知を受けるか、どのタイプのイベントの通知を受けるかを定義します。

メールスケジュールのカラーコードは次の意味を持ちます。

- **緑:** モーション用スロット。
- **赤:** 例外用スロット(HDD一杯、HDDエラーまたはビデオロス)。



ネットワーク: DDNSおよびFTP

DDNSは、DVRに対するリモート接続を簡素化するために固定アドレスを提供します。DDNSを使用するために、最初に、DDNSサービスプロバイダのウェブページ上でアカウントを開く必要があります。例えば、**KGUARD.ORG**: <http://www.kguard.org>を設定するには:

The screenshot shows the 'DDNS' configuration screen. On the left is a sidebar menu with options: 表示 (Display), 録画 (Recording), ネットワーク (Network), リモートストリーム (Remote Stream), メール (Mail), メールスケジュール (Mail Schedule), **DDNS** (highlighted), FTP, and アラーム (Alarm). The main area contains fields for DDNS settings: a dropdown menu set to '無効' (Disabled), a 'サーバー' (Server) dropdown set to 'NO_IP', and input fields for 'ドメイン' (Domain), 'ユーザー' (User), and 'パスワード' (Password). At the bottom right are buttons for 'デフォルト' (Default), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel).

- **DDNS**: DDNSサービスを有効にします。
- **サーバー**: お好みのDDNSサーバーを選択します。
- **ドメイン**: DDNSサービスプロバイダのウェブページで作成したドメイン名を入力します。PCを介してリモートでDVRに接続する場合、これは、URLボックスに入力するアドレスです。
- **ユーザー/パスワード**: DDNSサービスプロバイダのウェブページ上でアカウントを作成する際に取得したユーザー名とパスワードを入力します。例えば、KGUARD.ORGに対するユーザー名は、KGUARD.ORGウェブページ上でアカウントを作成する際に使用したメールアドレスです。

DVRからFTPを介してストレージデバイスに取得したスナップショットを表示およびロードする場合は、FTP機能を有効にしてください。

The screenshot shows the 'FTP' configuration screen. The sidebar menu is identical to the DDNS screen, with 'FTP' highlighted. The main area contains fields for FTP settings: a dropdown menu set to '無効' (Disabled), input fields for 'サーバーIP' (Server IP), 'ポート' (Port) set to '00021', '名前' (Name), 'パスワード' (Password), and 'ディレクトリ名' (Directory Name). A blue button labeled 'FTPのテスト' (Test FTP) is next to the directory name field. At the bottom right are buttons for 'デフォルト' (Default), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel).

- **FTP有効**: 使用する場合、DVR上のFTP機能を有効にしてください。
- **サーバーIP**: FTPサーバーのIPアドレスを入力してください。
- **ポート**: ファイル交換のためにFTPポートを入力してください。
- **名前/パスワード**: FTPサーバーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- **ディレクトリ名**: FTPファイル交換用のデフォルトディレクトリ名を入力します。
- **FTPのテスト**: クリックして、FTP設定をテストします。

アラーム: モーション

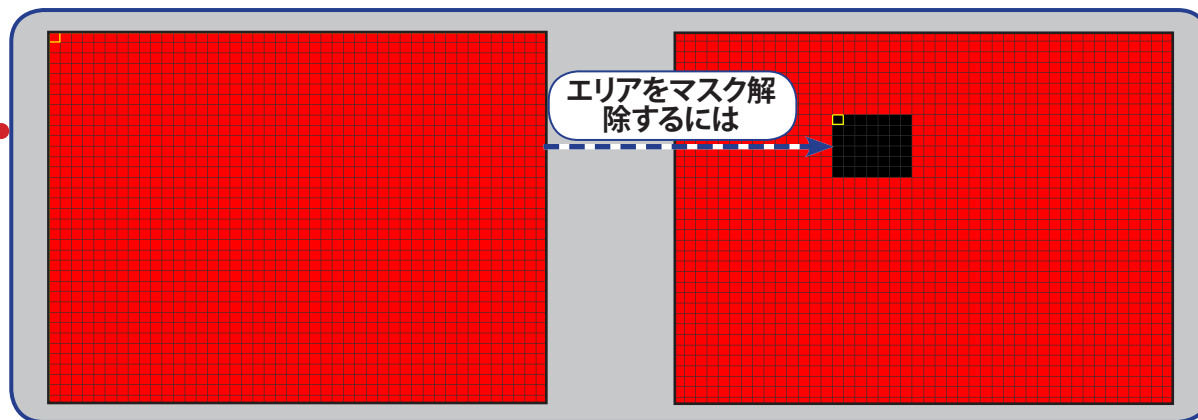
モーション検出は非常に簡単です。DVRはフレームごとに比較します。十分な量の差異がモーションとして解釈されます。モーションが検出されると、システムを自動的に録画を開始するように設定することができます。このメニューで、モーションベースの録画を行うチャンネルを選択することができます。

デフォルトでは、モーション検出用に画面全体がマークされています(赤いブロック)。あるエリアでモーション検出を無効にする場合は、グリッドのカーソルをクリックしたままマウスをドラッグして(透明ブロック)のマークを解除する範囲を強調表示させます。

モーション検出を高感度レベル(「8」が最高感度)に設定した場合、障害アラームイベントに頻度が増大します。逆に、感度レベルが低すぎる場合(「1」が最低感度)、重大なモーションイベントがモーション検出をトリガーせず録画されないリスクが高まる可能性があります。



- **チャンネル:** モーション検出を設定するチャンネルを選択します。
- **チャンネル切替:** この機能を有効にすることで、特定のチャンネルに対するモーション検出を行い、KView Link PLUSアプリを通して、イベントが発生した時にスマートフォンにプッシュ通知を受信するように設定することができます。
- **敏感度:** 感度レベルを設定します。
- **ブザー:** DVRは、その内部ブザーを使って、アラームを鳴らすことができます。モーションが検出された時、ブザー継続時間(秒単位)で設定することができます。
- **遅延記録:** イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒間ですが、最高、5分間を設定することができます。
- **エリア:** モーションエリアを設定するために、**設定**をクリックします。



- **ショーメッセージ:** ボックスにチェックを入れて、モーションが検出された時、「M」アイコンを画面上に表示させます。
- **Eメールの送信:** モーションが検出されたとき、DVRに自動メールを送信させることができます。メールスケジュールを設定する場合は、**ネットワーク: メールおよびメールスケジュール 18ページ**を参照してください。
- **全画面:** この機能が有効で、チャンネルでモーションが検出された場合、そのチャンネルが全画面で表示されます。
- **録画チャンネル:** ここで、モーション検出にどのチャンネルを含めるかを選択することができます。モーションが検出された場合、それらのチャンネル上で録画が直ちに開始されます。

録画検索: 全般

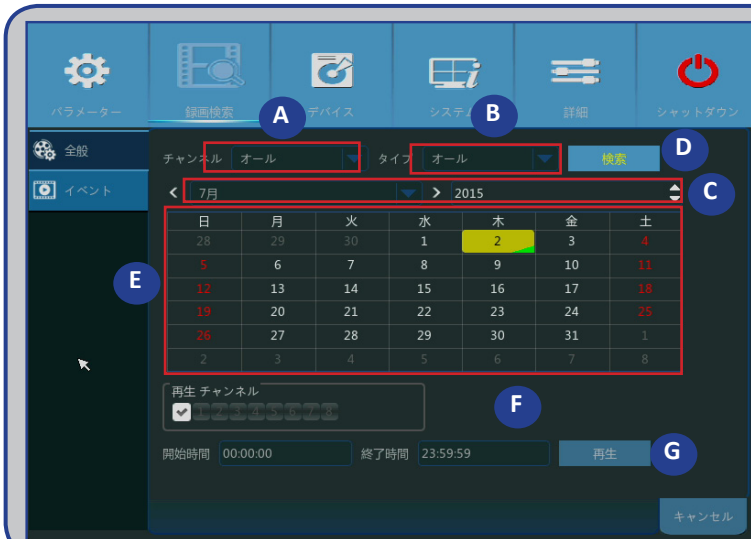
このメニューで、録画タイプ、チャンネル、日付および時刻パラメータに基づいて録画されたビデオの検索と再生を行います。

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

- **チャンネル:** 録画を再生するためのチャンネルを選択するか、または、**オール**を選択して、すべてのチャンネルからの録画を表示します。
- **タイプ:** 特定の録画タイプを選択します。
- **検索日付:** 録画されたビデオを検索する月と年を入力します。**検索**をクリックします。結果がカレンダーに表示されます。
- **開始時間/終了時間:** カレンダーで小さいオレンジ色の三角マークのついて日付をクリックし、再生で確認する映像の開始時刻と終了時刻を指定します。その後、**再生**をクリックします。再生画面が開きます。

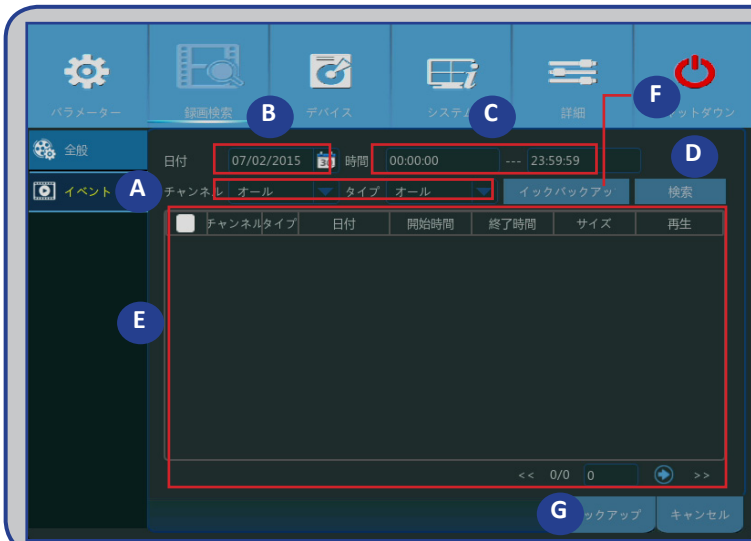
録画検索: 全般およびイベント

録画検索



- A) チャンネルを選択します。
- B) 録画タイプ(オール/標準/モーション/センサー)を選択します。
- C) 録画月および年を選択します。
- D) 検索をクリックします。
- E) 表から録画を選択します。
注意: オレンジ色の長方形のマークの付いた日付にはビデオ録画があります。
- F) 再生するチャンネルを選択します(オプション)。
- G) 再生をクリックします。
再生画面が開きます。録画の再生 23ページを参照してください。

イベント検索



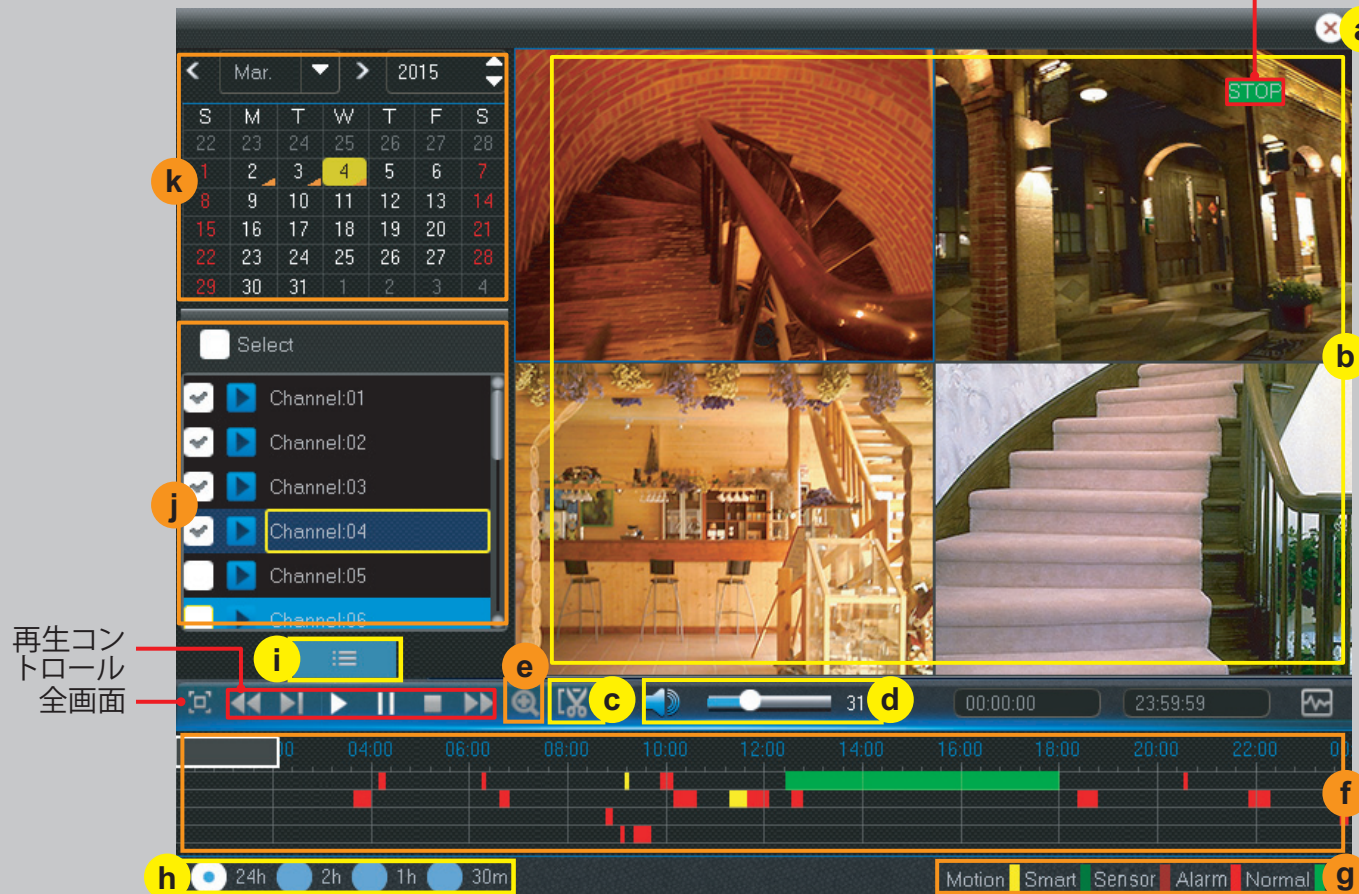
- 注意: イベントをバックアップするには、USBフラッシュディスクをDVRに接続します。**
- A) チャンネルおよびイベントタイプ(オール/標準/モーション/センサー)を選択します。
 - B) 日付を選択します。
 - C) 時刻を選択します。
 - D) 検索をクリックします。
 - E) 表からイベントを選択します。
 - F) すべてのイベントをバックアップするには、クイックバックアップをクリックします。
 - G) 個別のイベントをバックアップするには、まず、イベントを選択し、次にバックアップをクリックします。

録画検索: 全般(続き)

録画の再生

再生画面

再生状態



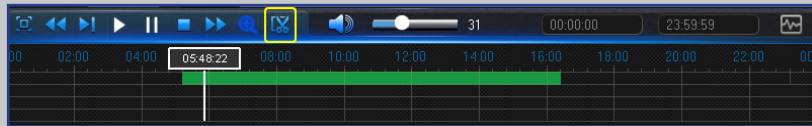
- a) 閉じる - [X]をクリックして、再生画面を閉じます。
- b) 録画 - 選択したチャンネルからのビデオ録画です。
- c) ビデオのトリミング - 詳細はビデオのトリミング 25ページを参照してください。
- d) 音量制御 - 音量を上げるまたは下げるには、スライダーをスライドします。
[Speaker Icon]をクリックして、音声を消音します。
- e) ズームイン - クリックして、ズームインします。
- f) タイムバー - カラーは、ビデオ録画タイプを示します: ノーマル録画(緑)、モーション録画(黄)、およびセンサー録画(赤)。
- g) 録画タイプインジケータ - モーション、スマート(スマート検索: 24ページを参照)、センサーおよびノーマル。
- h) 時間フレーム - 再生タイムラインを選択します。
- i) 検索画面 - クリックして、新しい検索を開始します。
- j) チャンネル - 再生するチャンネルを確認します。
- k) 録画カレンダー - オレンジ色の三角のマークの付いた日付にはビデオ録画があります。

録画検索: 全般(続き)

スマート検索:

通常の連続録画内の特定エリアのモーションを検索する場合、この機能を使用してください。

1) 再生用のチャンネルを選択します。

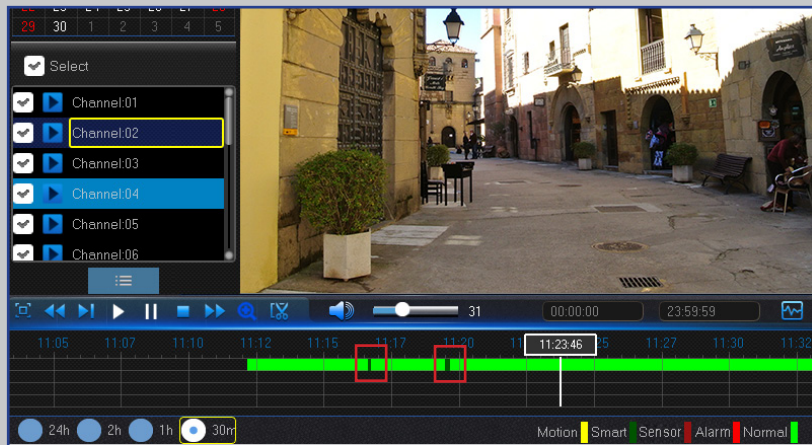


2) [Smart icon] をクリックします。

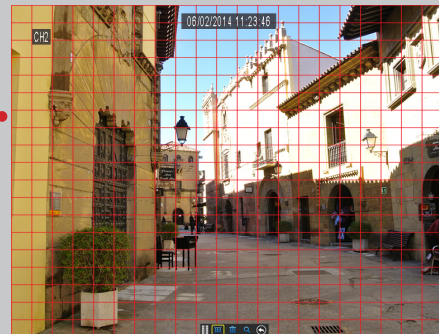
3) カーソルを使って、モーションを検索するエリアをマークします。
これは、特定のエリアまたは全画面になります。

4) [List icon] [Area icon] [Search icon] [Play icon] をクリックします。

スマート検索の結果、通常録画内(緑色)の中に暗い緑色でマークされたエリアとしてモーション録画が表示されます。



全画面



画面の一部

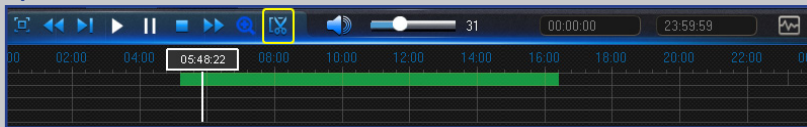


録画検索: 全般(続き)

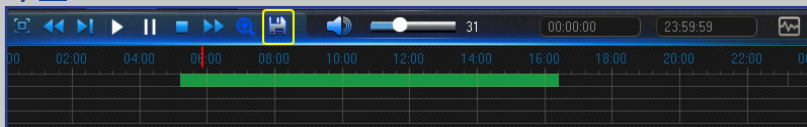
ビデオのトリミング

ビデオ録画の特定セクションのみをバックアップする必要がある場合、この機能を使用してください。

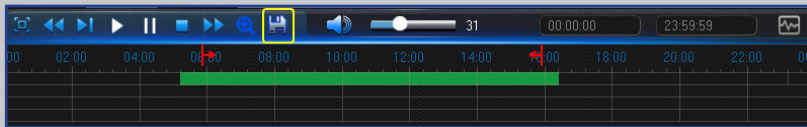
- 1) USBフラッシュドライブをDVRに接続します。
- 2) バックアップするチャンネルをダブルクリックします(ビデオ再生中に全画面で表示します)。タイムバーをクリックして、バックアップするビデオ録画の最初にマークつけてください。
- 4)  をクリックします。



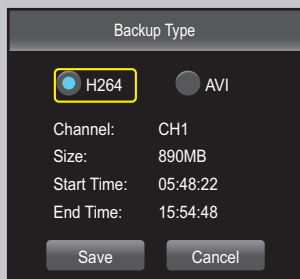
- 4) タイムバーをクリックして、バックアップするビデオ録画の最後にマークつけてください。
- 5)  をクリックします。



マークを付けたエリアが、赤い矢印の間に表示されます。



ビデオタイプ選択メッセージが表示されます。

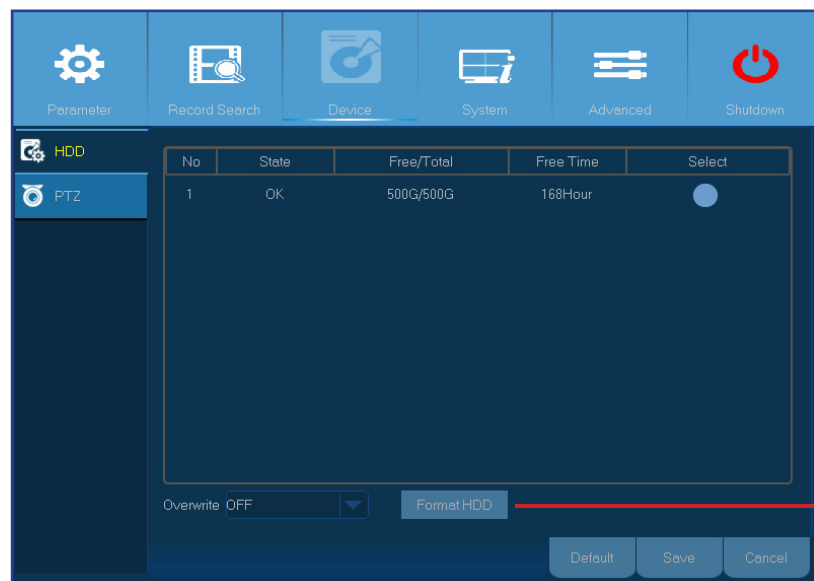


- 6) ビデオバックアップタイプを選択し、**Save (保存)**をクリックします。

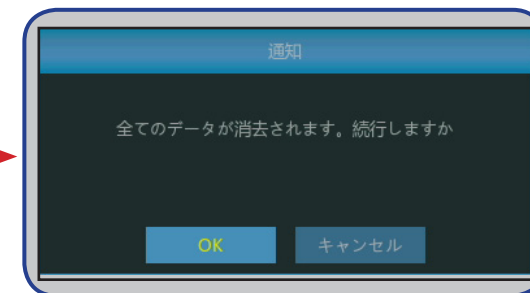
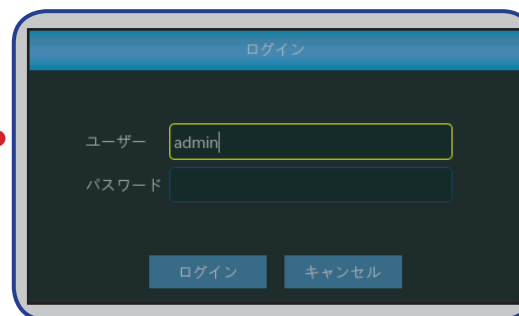
注意: デバイスのネイティブビデオタイプはH.264です。この形式で録画を表示するには、付属の製品CDからメディアプレーヤーをインストールしてください。AVIタイプはほとんどのメディアプレーヤーによりサポートされています。

デバイス: HDDおよびPTZ

ここで、DVRが録画を保存するために使用する内部HDDを設定します。HDDを交換する場合、最初に起動するときのみ、HDDをフォーマットする必要があります。

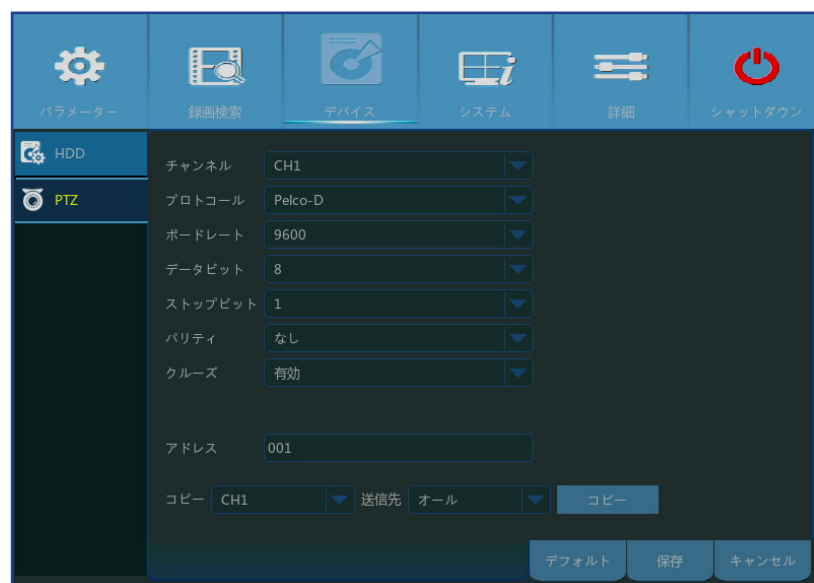


- **HDDのフォーマット:** フォーマットするHDDを選択し、次に**HDDのフォーマット**をクリックします。フォーマットを開始するために、ユーザー名とパスワードを入力し、次に**OK**をクリックして、フォーマットの続行を確認します。



- **上書き:** このオプションを使用すると、HDDが一杯になった場合、HDD上の古い録画が上書きされます。例えば、7日間のオプションを選択した場合、最新の7日間の録画のみがHDD上に保持されます。古い録画の上書きを回避するには、**無効**を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDDの状態を定期的に確認し、HDDが一杯でないことを確認する必要があります。

このメニューは、ドームカメラに対するPTZ(パン-チルト-ズーム)設定を行うためのものです。この機能はサポートされません。



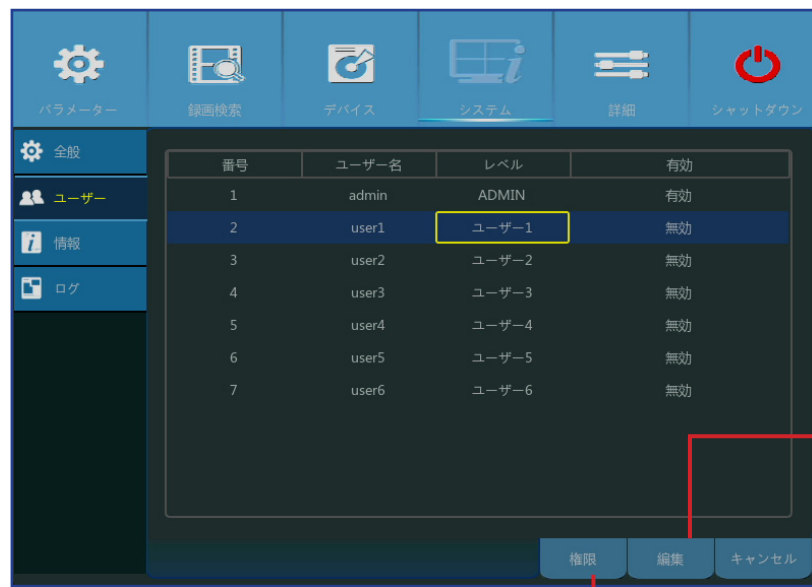
- **チャンネル:** ドームカメラを接続するチャンネルを選択します。
- **プロトコル:** PTZ対応カメラとDVRの間の通信プロトコルを選択します。
- **ボーレート:** DVRからPTZ対応カメラに送信する情報の速度です。これが、PTZ対応カメラの互換性レベルに一致していることを確認してください。
- **データビット/ストップビット:** DVRとPTZ対応カメラの間の情報は、個々のパッケージに送信されます。**データビット**は、送信されるビット数を示し、**エンドビット**は、パッケージの終了と次の(情報)パッケージの開始を示します。**データビット**に対して利用可能なパラメータは次の通りです: **8, 7, 6, 5. ストップビット**に対して利用可能なパラメータは、**1または2**です。
- **クルーズ:** クルーズモードの使用を可能にするために有効にします。クルーズモードで使用するために、プリセットポイントの数を設定する必要があります。
- **パリティ:** エラーチェックのために必要です。設定を行うには、PTZ対応カメラの説明書を参照してください。
- **アドレス:** PTZシステムのコマンドアドレスを設定します。正常に機能させるために各PTZ対応カメラがユニークなアドレスを必要としていることに注意してください。

システム: 全般およびユーザー

このメニューで、日付と時刻、OSD言語、メニュータイムアウトなどのシステムの全般的なパラメータを設定することができます。



ここで、ユーザーログイン情報を設定することができます。



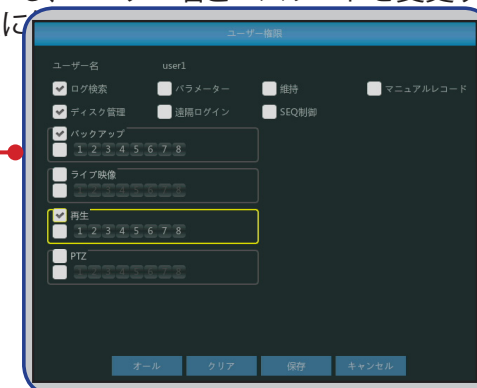
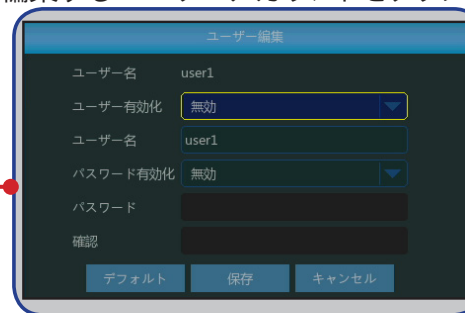
- **日付/時間:** 手動で日付と時刻を入力します。

注意: インターネット上での日付/時刻の自動調整を行うために、NTPを有効にしてください。

- **日付フォーマット:** ここで、日付フォーマットを選択します。例えば、デフォルトのMM/DD/YYを維持し、今日の日付が2013年11月19日である場合、日付は映像上に11/19/2013として表示されます。
- **時刻フォーマット:** ここで、時刻フォーマットを選択します。例えば、デフォルトの24時間制を維持し、現在時刻が午後5時29分54秒である場合、時刻は映像上に17:29:54として表示されます。
- **言語:** OSD言語を選択します。
- **ビデオ形式:** NTSCとPALの間でビデオ形式を選択します。DVRの画像がちらつく場合、または、黒い画面が表示される場合、ビデオ形式に誤りがある可能性があります。
- **メニュータイムアウト:** 使用されていない場合、DVRがメニューを終了する時間を設定します。
- **オーバースキャンのサポート:** チェックを入れて、ライブ映像表示画面上のビデオ画像の位置の調整を許可します。
- **ウィザードの表示:** DVR起動時に開始ウィザードを再表示する場合にチェックを入れます。

注意: デフォルトのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。

- **ユーザー編集:** ユーザーアカウントを有効/無効にし、ユーザー名とパスワードを変更するために、編集するユーザーアカウントをクリックし、次に



- **ユーザーパスワードの変更:** ユーザーアクセス権限を変更するために、変更するユーザーアカウントをクリックし、次に権限をクリックします。

システム: DSTおよびNTP

DSTは夏時間の略です。

The screenshot shows the 'システム' (System) menu with the 'DST' tab selected. The settings are as follows:

項目	設定
DST	無効
時間オフセット	1 時間
夏時間	週
開始時間	3月 2番目 日曜日 02:00:00
終了時間	11月 1番目 日曜日 02:00:00

Buttons at the bottom: デフォルト, 保存, キャンセル

- **DST:** お住まいの国で夏時間(DST)が認められている場合は、有効にしてください。
- **時間オフセット:** DSTに対してオフセットする時間数を選択します。
- **夏時間:**
 - **開始時間:** 月、週、日および時刻を選択することで、**開始時間**を入力します。
 - **終了時間:** 月、週、日および時刻を選択することで、**終了時間**を入力します。

ネットワークタイムプロトコルの略です。この機能を使用すると、インターネット経由でDVRに自動的に日付と時刻を同期させることができます。したがって、DVRをインターネットに接続する必要があります。

The screenshot shows the 'システム' (System) menu with the 'NTP' tab selected. The settings are as follows:

項目	設定
NTP	有効
サーバーアドレス	pool.ntp.org
タイムゾーン	GMT+08:00

Buttons at the bottom: デフォルト, 保存, キャンセル

- **NTP:** DVRに自動的に日付と時刻を更新させる場合は有効にしてください。
- **サーバーアドレス:** NTP(ネットワークタイムプロトコル)サーバーを選択します。
- **タイムゾーン:** お使いになる場所のタイムゾーンを選択します。
- **今すぐ更新:** こをクリックして、システムの日付と時刻を更新します。

システム: 情報およびログ

このメニューで、さまざまなシステム関連の情報を表示することができます。

項目	値
デバイスID	000000
デバイスネーム	D9808
デバイスタイプ	EL831
ハードウェアバージョン	DM-252
ソフトウェアバージョン	V6.1.0-20150627
IEクライアントバージョン	V1.1.1211.0
IPアドレス	192.168.001.100
MACアドレス	00-23-63-41-68-FA
HDDボリューム	149G
ビデオ形式	NTSC

- **デバイスネーム:** ご希望のDVRの名前を入力します。名前には、文字と数字の両方を含めることができます。
- **デバイスID:** DVRのIDを入力します。DVRを識別するデバイスIDは数字のみで構成でき、同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合は他のIDと同じにすることはできません。
- **MACアドレス:** DVRのMACアドレスを表示します。同一ネットワークに複数のDVRが接続されている場合、DVRがネットワークに接続できることを保証するため、各DVRは一意的なMACアドレスを有する必要があります。

ログメニューは、時系列順にイベントの一覧が表示されます。

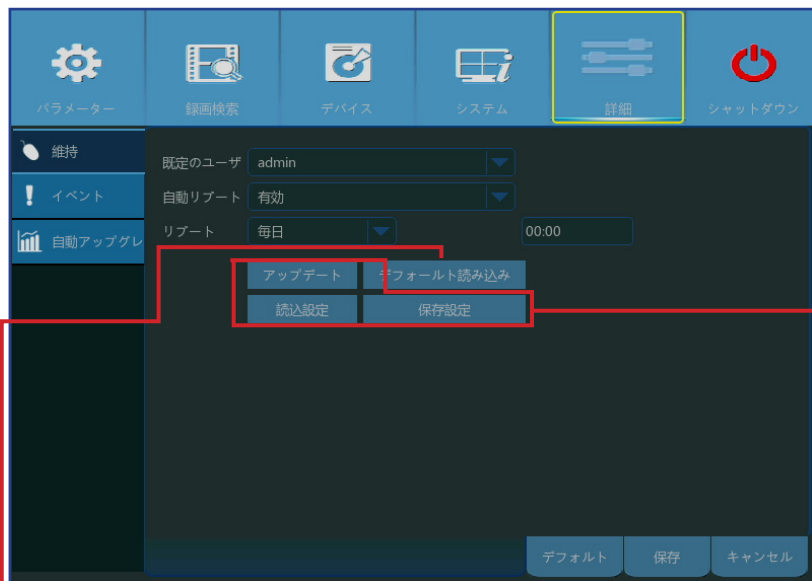
開始日付	終了日付	開始時間	終了時間	ログタイプ	検索
07/02/2015	07/02/2015	00:00:00	23:59:59	オール	検索

チャンネル	タイプ	時刻	内容	録画	再生
-------	-----	----	----	----	----

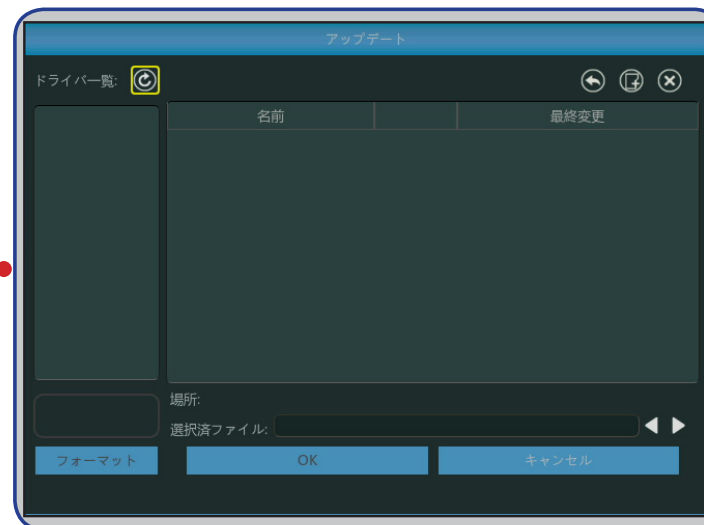
- ログを検索するために、対応するフィールドの開始時間/終了時間を入力し、**検索**をクリックしてください。
- ログの詳細を表示するために、項目をダブルクリックしてください。
- ログをバックアップするには、外部USBディスクをDVRに接続し、ログイベントをクリックして、**バックアップ**をクリックします。
- **ログタイプ:** ログタイプを選択します。
- **開始時間/終了時間:** 確認/USBストレージデバイス上に保存するログの開始および終了日付/時刻を指定します。**検索**をクリックします。ログが表に一覧表示されます。

詳細: 維持

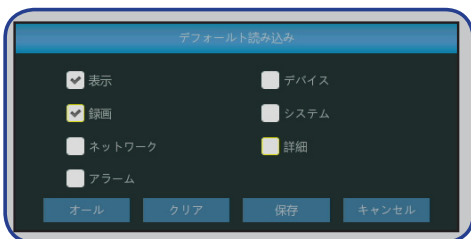
維持ページを使って、自動システム保守を設定したり、工場出荷時デフォルト設定を読み込んだり、ファームウェア設定を更新したりすることができます。



- **既定のユーザ:** 起動後、ライブ映像表示のためにDVRに自動的にログインする場合は、管理者ユーザーアカウントのみが自動ログインを設定することができます。
- **自動リブート:** スケジュールに基づいてDVRを再起動するために有効にします。
- **リブート:** 毎日、毎週または毎月DVRを再起動するように選択します。
- **アップデート:** クリックして、ファームウェアの更新を開始します。



- **デフォルト読み込み:** この機能を用いて、DVRの工場出荷時設定を復元します。ファームウェアのアップグレード後、すべてのオプションに対してデフォルトを読み込むことをお勧めします。



- **読込設定:** 保存設定機能を使って、以前に保存した設定をインポートするために、このオプションを選択してください。
- **保存設定:** ビデオ録画設定、ネットワーク設定などのDVRの現在の設定をUSBデバイスに保存するために、このオプションを選択してください。

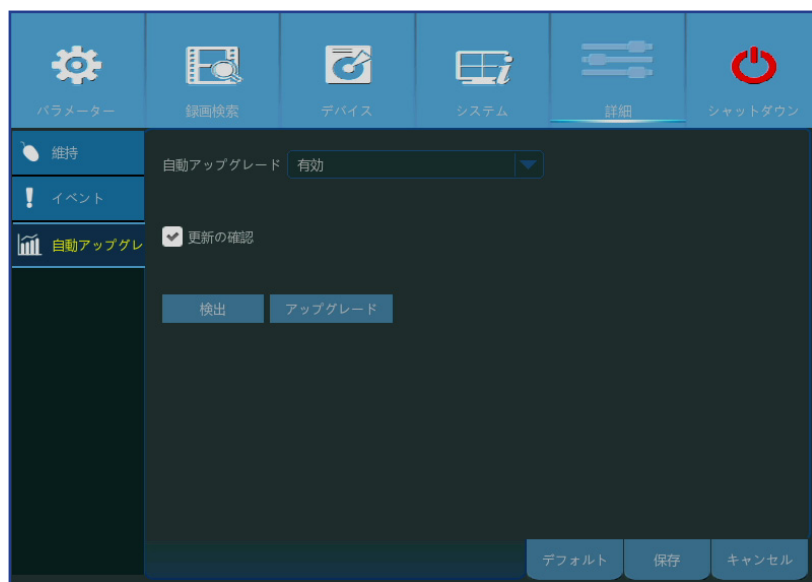
詳細: イベントおよび自動アップグレード

このメニューで、DVRにアラームを鳴らさせる場合のイベントのタイプを設定することができます。



- **イベントタイプ:** イベントタイプを選択します。オプションは
 - **ディスクフル:** HDDがいっぱいの場合です。
 - **HDDエラー:** HDDが正しく検出されない場合です。
 - **ビデオロス:** カメラが正しく検出されない場合です。
- **有効:** クリックして、イベントの監視を有効にします。
- **ショーメッセージ:** ディスクフル、ディスクエラー、またはビデオロスが発生した時に画面上にメッセージを表示する場合にチェックを入れてください。
- **Eメールの送信:** イベント発生時にDVRに自動メールを送信させます。メールおよびスケジュールを設定する場合は、[ネットワーク: メールおよびメールスケジュール 18ページ](#)を参照してください。
- **ブザー:** イベント発生時のブザーの時間を設定します (オフ / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒)。ブザーを無効にするには、オフを選択します。

自動アップグレードページを使って、DVRにシステムアップデートを自動的に検索するように設定することができます。



- **自動アップグレード:** オンラインシステムアップグレードの使用を許可するために有効にします。
- **更新の確認:** DVRにアップデートを検索させるために、チェックボックスにチェックを入れます。
- **検出:** クリックして、アップデートを検索します。
- **アップグレード:** クリックして、インターネット上で直接システムをアップグレードします。

Webクライアントを経由するリモートアクセス

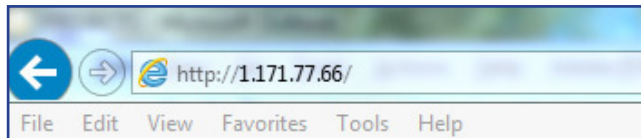
Webクライアントを使って、PCを経由してDVRにいつでもリモートアクセスすることができます。Webクライアントにアクセスする前に、DVRのネットワーク設定が正常に行われていることを確認する必要があります。最も便利で簡単な方法は、DVRを固定IPアドレスに設定している場合です([ネットワーク: ネットワーク 16ページ](#)を参照してください)。PC上でWebブラウザを開き、DVRに設定した固定IPアドレスを入力することだけが必要になります。しかし、DVRのIPアドレスがDHCPサーバーにより割り当てられる場合([ネットワーク: ネットワーク 16ページ](#)を参照してください)、DVRを再起動するたびにIPアドレスが変化します。この場合、ISPに固定IPアドレスを提供してくれるかどうか確認してください。提供してもらえない場合は、DDNSサービスを設定してください。[ネットワーク: ネットワーク 16ページ](#)および[ネットワーク: DDNSおよびFTP 19ページのネットワーク設定を参照してください](#)。また、UPnPがDVRとルーターに設定されていること、または、ルーター内に手動ポート転送が完了していることを確認してください。

ログイン

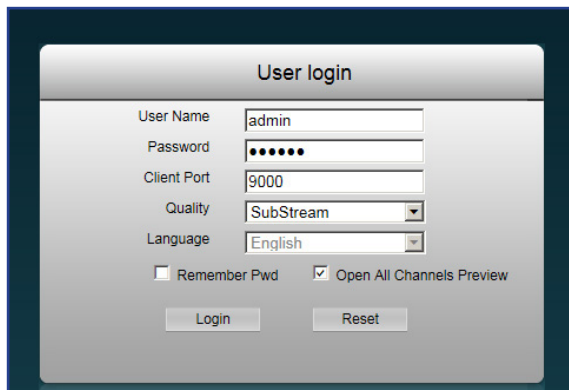
Webクライアントにアクセスするには以下を行います。

1) PC上でWebブラウザ(Internet Explorer)を起動し、URLボックスにDVRに設定したDVRの固定IPアドレスまたはDDNSドメイン名(ホスト名)を入力します。

注意: 次のIPアドレスは一例に過ぎません。



示すように、ユーザーログインページが開きます。



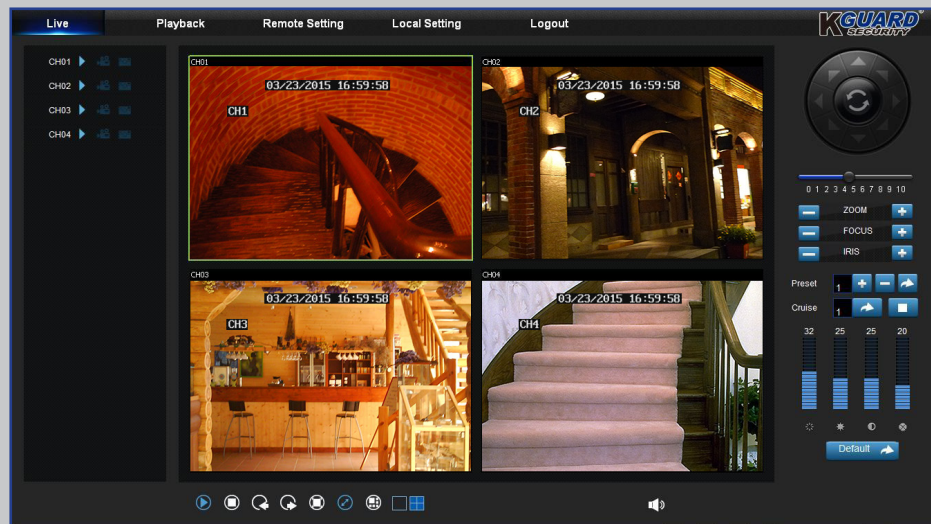
デフォルトのDVRのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。

2) ユーザー名とパスワードを入力します。

3) ログインをクリックします。

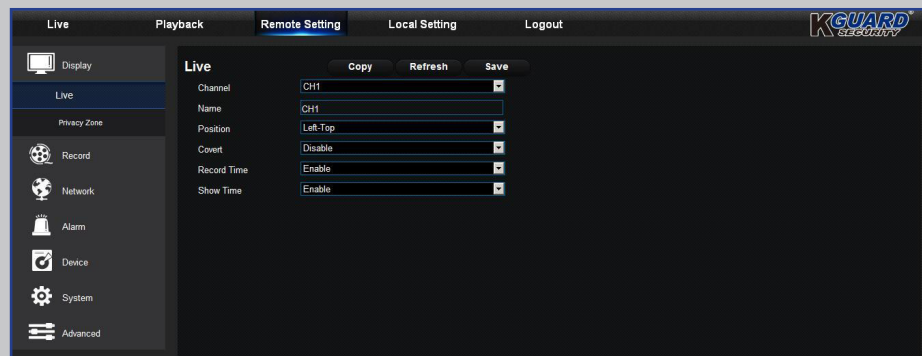
Webクライアントを経由するリモートアクセス(続き)

リモートライブ映像表示画面



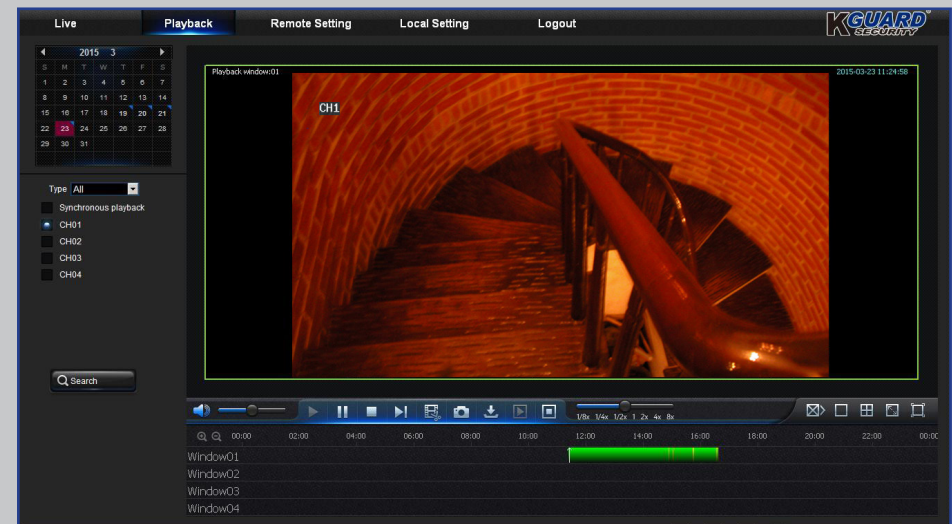
これは、Webクライアントにログイン後に最初に開く画面です。ここで、チャンネルの表示または無効(▶)、手動での録画開始(📹)、画面のスナップショットの取得(📷)、PTZ設定(サポートされません)などを行うことができます。

リモート設定メニュー



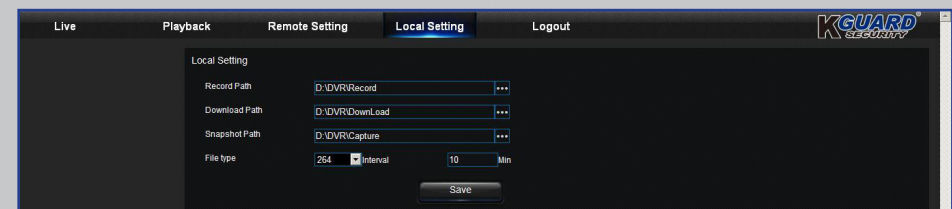
ここで、DVRの設定をリモートで行うことができます。詳細情報は、[メインメニュー 10ページ](#)を参照してください。

リモート再生画面



DVR内部のHDD上に保存された録画ファイルを検索したり、結果をPCのローカルディレクトリに保存したりすることができます。ローカルディレクトリを設定する場合。以下に記載する「[ローカル設定メニュー](#)」を参照してください。

ローカル設定メニュー



- **録画パス:** PCのローカルドライブ上に手動録画を保存するためのパスを設定します。
- **ダウンロードパス:** DVRからの録画をダウンロードするPCのローカルドライブ上のパスを設定します。
- **スナップショットパス:** PCのローカルドライブ上に手動スナップショットを保存するためのパスを設定します。
- **保存:** 保存をクリックして変更を保存します。
- **ファイルタイプ:** 手動録画用のお気に入りのファイルタイプを選択します。

トラブルシューティング

DVRを使用する際になんらかの問題を体験した場合は、サービスに問い合わせる前に以下の共通問題に対する解決法を試みてください。問題が持続する場合は、お近くのカスタマーサービスにお問い合わせください。

質問: DVRの電源がONにならず、インジケーターが点灯していません。

- 回答:**
- 電源アダプター(12V/2A) が正しく接続されていることをご確認ください。
 - 電源アダプタを別のコンセントに接続します。現在のコンセントが損傷している恐れがあります。
 - 電源アダプタが損傷している恐れがあります。販売店にお問い合わせの上、新しいものをご購入ください。

質問: チャンネルにビデオ信号がありません。

- 回答:**
- カメラが正しく接続されているかをご確認ください。
 - カメラに電力が供給されているかをご確認ください。
 - お客様の国で使用されている正しいビデオ形式を設定してください (NTSC/PAL)。システム: 全般およびユーザー 27ページをご参照ください。
 - DVRがPLUSシリーズのKGUARD 720Pメガピクセルカメラ(例えば、モデル番号WA713A)に接続されているかどうかを確認してください。

質問: 付属の延長ケーブル(18M)では長さが足りません。

- 回答:**
- 長い距離で運用する場合は、必要とする長さの標準BNCケーブル(RG59などの両端に事前にBNCコネクタが取り付けられたもの)を購入してください。あるいは、詳細情報について、最寄りのKGUARD販売代理店にお問合せください。

質問: 管理者パスワードを変更しましたが思い出せません。

- 回答:**
- 工場出荷時の既定パスワードを取得するには、小売業者へ問い合わせるか、または直接KGUARD support@kguardsecurity.com にメールを送信してください。

質問: リモコンが動作しません。

- 回答:**
- リモコンとDVRの間を遮るものが何もないことをご確認ください。リモコンを適切な距離をあけて向けてください。
 - リモコンの電池をご確認ください。

質問: メールアラートが多すぎます。

- 回答:**
- メールアラートの送信間隔設定を確認してください。ネットワーク: メールおよびメールスケジュール 18ページをご参照ください。
 - DVRがビデオロスまたはHDDエラーなどのエラーを報告し続ける場合は、カメラが正しく接続されていること、また、他のハードウェア設定を確認してください。

質問: Webクライアントにアクセスできません。

- 回答:**
- ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。
 - UPnP機能がルーターおよびDVRで有効化されていること、または、ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ポート転送が完了していることを確認してください。
 - ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。ネットワーク: ネットワーク 16ページをご参照ください。
 - Internet Explorer 6以上があることをご確認ください。

質問: ブザーが鳴り続けています。

- 回答:**
- モーションまたはイベント設定を確認してください。モーション感知またはビデオロスが検出される可能性があります。HDD容量とビデオ接続をご確認ください。これらがブザーのトリガーとなっている可能性があります。



Copyright © 2015 All rights reserved

Customer Support

KGUARD INFORMATION CO., LTD.

所在地: 4F, No.113, Jian 2nd Road, Jhonghe District,
New Taipei City 23585, Taiwan
TEL: +886-2-8228-6080
FAX: +886-2-8221-6857
Eメール: support@kguardsecurity.com

USA Technical Support Contact

TEL: 1-866-978-4888
Eメール: usservice@kguardsecurity.com